



徳山大学校友会誌
とくだい

第22号

平成11年3月23日

発行所 徳山大学校友会
〒745-8566
山口県徳山市久米 徳山大学内
TEL 0834 (28) 7454 (代)

発行責任者 國 廣 憲
編集発行人 瀬 川 昌 文



まもなく卒業式を迎える、4年生に徳山大学で過ごした日々について、またこれから母校に望むことなどを聞いてみました。

〈質問項目〉

- (1) 氏名
- (2) 在学中一番の思い出は何でしたか。
- (3) 徳山大学に入って良かったと思う点について教えてください。
- (4) これから母校に望むことはなんですか。

(1) 田村 一弘
(2) 6月祭、ポプラ祭をはじめ実行委員会としての運営活動。また、大学祭実行委員会の、メンバーその他学生団体を含む教職員・学生との交流のすべで。
(3) 大学祭実行委員会に良い先輩がいしたこと。

(1) 尾海 綾子
(2) 3年になってから入ったサークル活動で自分たちの車であちこち行ったこと。就職活動もいい思い出です。
(3) ほどうい自然環境と少し足を伸ばせば徳山、下松の街があり買物にも不自由せず、快適な環境で学生生活を通すことができたことです。
(4) 学部を増やして、女子学生数を多くしたほうがいいのではないのでしょうか。

(1) 松村 彰臣
(2) 広島から通いながら、教職課程もと、クラブ活動(写真部・アルバム製作実行委員会)も、行い毎日が非常に充実していたことです。そのおかげで、多くの友達と毎日を楽しく過ごせました。
(3) 多くの友達と知り合えることができ、先生や職員の方々とも仲良くなれ、とてもよくしていただいたことです。
(4) 単科大学であることのメリット(教職員と知り合えるチャンスが多い)をこれからも期待したいです。各大学行事を続けて欲しいです。

(1) 稲垣 祐臣
(2) ポプラ祭のフィナーレ。学生会として頑張ってきた仲間たちと共にこの日をわがちあひ、お互いの労をねぎらい涙した光景は一生の思い出となりました。
(3) 学生会を通して沢山の友人(仲間)ができたこと。お互いの苦勞、感動等の感情をわかちあえる関係が築きました。その中の人間関係が様々なことを勉強しました。この経験は、社会に出るにあたってとても貴重なものとなったと思います。
(4) 教職員と学生の垣根のない付き合いを望みたい。もっと、学生が創りあげた企画を感動するだけでなく、教職員と学生が作り上げた企画を共に実行し、その感動を学校全体でわかちあいたい。

(1) 高井 陽子
(2) 維新の道に参加したこと。
(3) 多くの友人を得たこと。一生大切にしていきたいです。
(4) 温かい雰囲気を持ちつつ欲しくないです。

(1) 山本 ミキ子
(2) 部活動、陸上競技部長距離でした。毎日の練習はともかく高倉監督や北村コーチから多くの指導を受けました。中四国インカレの150メートルで3位に入賞して、高倉監督から「頑張ったな」と握手をしていただいた時、本当に嬉しかった。
(3) 多くの素晴らしい先生方や友人と出会えたこと。

(1) 難波江 経史
(2) 大学祭実行委員会の活動で、学内だけでなく他方面にも知人ができたこと。「つるべ」や「男闘士」に会えた事。テレビやラジオに出られた事。
(3) 今の友人に出会えたこと。
(4) 他の学部も作って欲しい。もっと元氣よく!!。大学祭にもっと多くの先生に参加してほしい。サークルや同好会を簡単に作らせて欲しい。実社会に役立つ授業を増やして欲しい。

(1) 川人 洋一
(2) ポプラ祭の成功(4年間)
(3) ポプラ祭にかかわれたこと。いろいろな友に出会えたこと。自分自身が成長したこと。
(4) 単科大学でなく総合大学を目指して欲しい、学生も教員もポプラ祭に参加して欲しい。

(1) 久保 真理子
(2) 1番の思い出は「維新の道」で山口から萩まで歩いたこと。3年生の時、初めて参加し、2度と歩かないと心に決めていたのに4年でも懲りずに参加してしまいました。
(3) サークルのみんなとお互いに励まし合っている自分の限界に挑戦し、萩に着いた時の感動はもう忘れられない。
(4) ワンストップ部、ボランティア活動に所属し、他団体との交流を通じて多くの友人と出会うことができ、サークルの友人は一生つきあえる心強い仲間になった。
(5) 女子学生の数を増やして欲しい。(男子学生もさみしいだろうし...)

(1) 内田 奈美
(2) 毎年11月に行なわれるポプラ祭。特に学生最後のポプラ祭ではたくさん

んの問題にぶつかることもあったが、主催する側として全員が一致団結してポプラ祭を成功させることができた。
(3) 大学祭実行委員会に所属し、そこでたくさん仲間と出会ったことや、たくさんの学校行事に参加できたこと。いろいろな経験をしたこと。
(4) 先輩達のごしてくれた学生団体同志の結束やひとつひとつの行事(サリゼミや維新の道)を続けて欲しい。

(1) 山中 通生
(2) 1番の思い出。それを1つに絞ることは難しいです。いろいろありますが、辛かった思い出、苦しかった時期が私にとって、ひとときわい思い出のように思えます。
(3) たくさんあります。あえてひとつに絞るとするならば徳山大学に横山先生にご指導いただいている心理学研究会があったことです。私事ですが、も知れませんが、まったくの一言に尽きると思います。ほとんどの大学では学生同志のコミュニケーションが主で、徳山大学では教職員の方との関係もとても親しく感じられます。本当に徳山大学に入って良かったと思います。
(4) これは徳山大学だけに言えることではないと思いますが、いかに小中高齢化社会に対応できるか危機感をもって考える必要があると思います。徳大が大好きだからこそ毒舌になりますが、本学は対応できていないと思います。今の時代必ずしも今までの常識が常識ではありません。都銀や大手証券会社が倒産してしまうことは今まで全く考えられなかったこと、驚愕のニュースでした。しかし、このようなことは我が徳山大学のことも、決して他人事ではないでしょう。今年は受験生が減少したそうですが、学部が増えただけなので、変化が足りないから、チャレンジしていかないからではないでしょうか。私は故郷の高知に帰りますが、私でもお役に立てることがあれば、何でもお手伝いさせていただきますと思っています。

んの問題にぶつかることもあったが、主催する側として全員が一致団結してポプラ祭を成功させることができた。
(3) 大学祭実行委員会に所属し、そこでたくさん仲間と出会ったことや、たくさんの学校行事に参加できたこと。いろいろな経験をしたこと。
(4) 先輩達のごしてくれた学生団体同志の結束やひとつひとつの行事(サリゼミや維新の道)を続けて欲しい。

んの問題にぶつかることもあったが、主催する側として全員が一致団結してポプラ祭を成功させることができた。
(3) 大学祭実行委員会に所属し、そこでたくさん仲間と出会ったことや、たくさんの学校行事に参加できたこと。いろいろな経験をしたこと。
(4) 先輩達のごしてくれた学生団体同志の結束やひとつひとつの行事(サリゼミや維新の道)を続けて欲しい。

んの問題にぶつかることもあったが、主催する側として全員が一致団結してポプラ祭を成功させることができた。
(3) 大学祭実行委員会に所属し、そこでたくさん仲間と出会ったことや、たくさんの学校行事に参加できたこと。いろいろな経験をしたこと。
(4) 先輩達のごしてくれた学生団体同志の結束やひとつひとつの行事(サリゼミや維新の道)を続けて欲しい。

インタビューにご協力いただき、卒業後の活躍をお祈り申し上げます。

岡茂洋雄さん(17期)プロテスト合格祝賀会 「徳山大学の名を日本中に広げたい！」



岡茂洋雄さんは20代最後の節目として安定したサラリーマンに終止符を打たれ、プロとしてのスタートラインに立たれました。徳山大学初のプロスポーツ選手でもあり、大学ゴルフ界初のプロでもあります。その祝賀会が、11月22日アドホックホテル丸福で開かれました。徳山大学ゴルフ部OB・現役を始め、関係者約70名がお祝いに駆けつけられました。

岡茂さんの印象あるコメント「とにかく練習をやっていたら、グリーンと上がる時がきます。普通は、このグリーンと上がる前で止めてしまうんです。練習をやり続ければ必ず上手くなります。」に元気が付けられました。

また、余談ですが、岡茂さんから「以前取材(校友会誌20号)を受けたとき、アマチュアでトップを目指すとっておきながら、方向が変わってすみません！」(笑)と。プロとして、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

最初に佐藤理事長より「我が徳山大学はサッカー、野球などスポーツで名を挙げていますが、プロ入りは岡茂くんが初めてです。後輩たちも岡茂くんに続くよう励んでほしい。」と挨拶。また、國廣会長より「我々OBを始め、岡茂さんの知らない所でも盛り上がっていますよ。プロとして生き残るのは大変ですが、今度はスポーツ新聞に顔が大きく載るくらい活躍を祈っています。」と挨拶がありました。



- 岡茂洋雄さんの主な成績
(徳山大学時代)
昭和62年4月 徳山大学経済学経済学専攻ゴルフ部入部
昭和63年8月 中国留学生ゴルフ選手権優勝
平成元年8月 中国留学生ゴルフ選手権優勝(2連覇)
平成2年8月 日本アマチュアゴルフ選手権出場
平成3年8月 中国アマチュアゴルフ選手権3位
平成4年8月 日本アマチュアゴルフ選手権優勝(ベストアマチュア)
平成5年11月 文部大臣杯全日本学生選手権決定戦(アマチュア)ベスト8
平成6年8月 徳山大学卒業(功労賞受賞)
(アマチュア時代)
平成3年4月 中国アマチュアゴルフ選手権優勝
平成7年11月 中国アマチュアゴルフ選手権優勝
平成8年11月 中国アマチュアゴルフ選手権優勝
平成9年11月 中国アマチュアゴルフ選手権優勝
平成9年5月 広島県アマチュアゴルフ選手権優勝
平成9年6月 中国アマチュアゴルフ選手権3位
平成9年7月 日本アマチュアゴルフ選手権12位
平成9年9月 大阪全アマ団体・広島県代表として出場
ゴルフ競技個人部門優勝、団体で広島優勝
(広島県代表)
平成9年10月 日本アマチュアゴルフ選手権ベスト8
平成10年3月 中国アマチュアゴルフ選手権優勝
平成10年4月 徳の果ゴルフクラブ所属
平成10年9月 プロテスト最終練習(3次)20位タイで通過
平成10年10月 プロテストオープン出場(予選落ち)
平成10年11月 統一テスト(4次)トップで通過

岡茂洋雄さんの主な成績



水練会(水泳部OB会)総会開催される

水泳部のOB会であります水練会の総会が平成11年1月23日土曜日、岡山県倉敷市のホールサムイオンせとらにて開催されました。総会幹事長の開会宣言の後、延原宏会長(16期)より、「会の結束をますます強め水泳部並びに母校の発展のために我々の出来る活動を精一杯やってみましょう」と挨拶がありました。この後、議案審議し副会長改選では鮎川伸一氏(19期)を選出。次期総会幹事長に松本英樹氏(16期)が決まりました。最後に現役主将の栗本君を功労者表彰し、総会は終了しました。



http://www1.tiki.ne.jp/~h-nobu/ (徳山大学文化体育連合会水泳部水練会公式webサイト)

東部支部期別同窓会開かれる!



去る平成10年11月27日(金)18:30より敦徳徳山新館にて、この度初めて東部支部期別同窓会が開催されました。15期から24期までの若い層を中心に、約40名の出席となりました。東部支部支部長の古室幸男氏は「この会は、若い方を中心に発展してほしい」と挨拶。会は名刺交換をはじめ、情報交換も交えながらのひとときでした。毎年、同窓生の数も増えていきます。今回のような同世代の期別同窓会を、今後も益々期待できることでしょう。

灰谷健次郎 文化講演会 「自然・人・子ども」 1999年3月28日(日) 開場 PM1:30 開演 PM2:00 場所/徳山市文化会館 入場料/500円(全席自由・税込) 校友会会員ご招待
プロフィール
1934年兵庫県生まれ。大阪学芸大(現・大阪教育大)卒。神戸市立の小学校教師の後、沖縄、アジアを放浪。1974年「兎の眼」を刊行。ベストセラーとなった。1975年日本児童文学新人賞受賞。1978年、国際アンデルセン賞特別優秀作品に選ばれる。また「太陽の子」と共に1979年第1回読者の石文学賞受賞。1980年淡路島に居を移し自給自足の生活を始める。1991年沖縄に移住。最新作は「すべての怒りは水のごとくに」「しりたいねん」「ニライ・カナイ」。

今も昔も旬です!!

活躍する徳大OBたち Vol.6

キャンパスで思いっきり青春を謳歌した学生時代…。そして、実社会に出て新たなフィールドで、さらに、活躍中の徳大OBたちをご紹介しますコーナーです。今回も5人の方をご紹介します!

“活躍する徳大OBたち”掲載者募集中!!

このコーナーへ出ていただける方を募集しています。ご本人もしくは、身の周りの徳大OBの方がいらっしゃいましたら校友会事務局まで、お便りと、掲載用の写真1枚をお送り下さい。※詳しくは校友会事務局まで



第14期生 渡辺 廣徳さん
朝日生命保険相互会社 徳山支社下松営業所勤務 (徳山市在住)

出身は愛媛県西条市。現在、朝日生命下松営業所で部下9名を抱えられた指導所長。また、日本青年会議所中国地区会議の総務広報委員会副委員長としても活躍。学生時代はとにかくバイトをいっぱいされたそうですが、その中でも思い出深いのは城ヶ丘の喫茶店で料理を作られていた事。夜になると友人や後輩たちが「安くメシを食わせてくれ」とよく訪ねて来られたそうです。「あの頃、徳大生は一本気で筋の通った奴が多かった!」と熱く語られました。



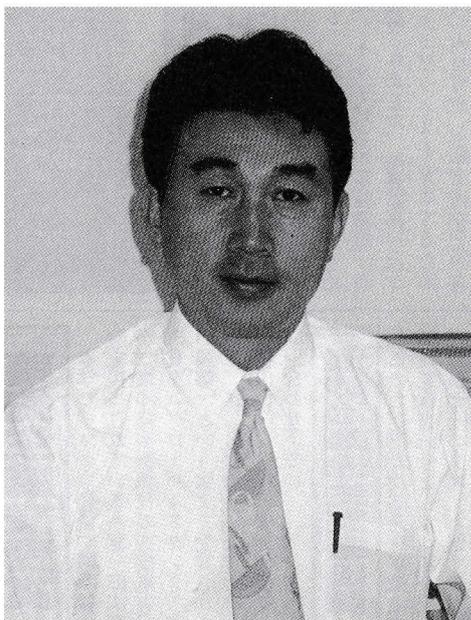
第24期生 藤原 泉さん
泉原病院勤務 (徳山市在住)

4年間バスケットボール部での毎日。4年生時は副キャプテンを務められました。中四国地区では負け知らずで、4年間連続インカレ出場。しかし、いずれも1回戦で敗退したのは無念だったそうです。講義は佐原ゼミが一番楽しかったとか。現在は、徳山にある病院の受付で医療事務をされています。生まれも育ちもずっと徳山。徳山をこよなく愛されているそうです。休日は徳大バスケ部のOGたちで集まってバスケットを楽しまれています。



第22期生 木村 友広さん
セントラル広告勤務 (宇部市在住)

現在、広告代理店でテレビ・ラジオのコマーシャルの企画提案や、イベントのプロデュース等、広告宣伝・販促に関する業務に携わり、日々、山口県内を駆け巡られています。学生時代も大学祭実行委員会で企画・広報をされていました。また4年間、宇部の実家から通学。試験当日は、わずか1時間半の電車の中で試験勉強(暗記)をされていたそうです。アルバイトも宇部のコンビニと寿司屋で。「多分(?)自分の家から西村知美の実家が近い…」ことが自慢だそうです。



第6期生 高藤 公人さん
高藤公人税理士事務所 (福岡市在住)

私は第6期生高藤公人(昭和32年6、29生)と申します。いつも校友会誌を楽しく拝見しております。

さて、先日郵送して頂いた「とくだい」第21号を見ておりまして、P3目に活躍する徳大OBたちという欄があり、少しためらいましたが私も思い切つて筆を執ることにしました。というのも、徳山大学を卒業してから、なんと早や19年も経っているというこの事実が信じられない気がします。

疎遠になってしまっていますので、もし私がOBとして掲載して頂ければ、そして誰かがこれを見て私を思い出してくれるようなことがあればこんなうれしいことはないと思うからです。

それでは、私自身の概略を説明させていただきます。

昭和55年に徳山大学を卒業致しました。在学中はいろいろな友人ができて、楽しい学生生活ではあったのですが、いざ卒業してみますと何をしてきたのだろうという

思いが強く残りました。そして恥ずかしい話なのですが、大学を卒業して初めて自分自身の進路、方向、人生というものを真剣に考えるようになりました。知り合いからの勧めもあり何か資格を取得したいと考え、税理士を目指すことになりました。

そして、長女が生まれた平成元年に九州北部税理士会へ税理士として登録し、翌平成二年に独立開業となりました。税理士としてクライアントの信頼を得るべく日夜勉強に励んでおります。毎日あわただしく過ごしておりますが、ふと徳大の頃みんなは元気でやっていたのかなあと考えます。

もし掲載していただければ、ぜひ、次のことばを誌面に載せてください。

「おーい、徳大6期生! 元気でやっているかー!! みんなオッサンになったけど、勝負はこれからだぞー!!」

学内情報 INFOMATION

ラグビー部 全国地区対抗大学 ラグビー大会2連覇!!

全国地区対抗ラグビー大会に中国・四国代表として出場した本学ラグビー部は昨年に続き優勝、大会2連覇を果たしました。
平成11年1月2日より6日まで名古屋市瑞穂ラグビー場で行なわれた大会、1回戦、事実上決勝戦といわれた武蔵工業大学と対戦、29-27で接戦をものにしました。勢いに乗り続く準決勝、地元愛知学院大学を45-17で撃破、決勝は東北福祉大学と対戦となりました。初出場とは言え、盛岡工、仙台育英など強豪高校出身者を擁えて勝ち進んできた東北福祉大、接

戦が予想されていきました。しかし試合が始まると、徳大がFWラッシュで圧倒、前半24分で26-0と差を広げて、大勢を決めました。後半、福祉大もセットプレーで応戦するが前半の勢いでそのままゲームムトライ、62-47で圧勝、2連覇を果たしました。

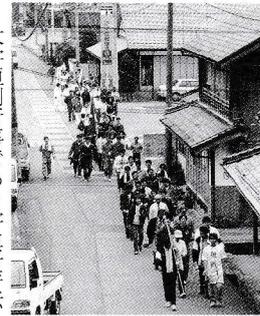
このことにより、本学ラグビー部の所属する中国・四国地区に閉ざされていた、念願の全国ラグビー選手権大会への道が10年ぶりに開かれることとなりました。来年度からは、中国リーグの1位が東海代表と対戦、勝利をおさめた場合、さらに関西第5代表との決定戦に臨み、ここで勝てば、明治大学との対戦もあり得る、大学選手権出場となります。

日本サッカーが初めてワールドカップへ出場した時のようなときめきを携えたまま本学ラグビー部のあくなき挑戦はこれからも続きます。頑張れ徳大ラグーマン!!



強歩大会

第20回記念大会開催



大学恒例行事であり学生好評伝統行事とも言える、強歩大会も今年で20回目を迎えました。

20回記念大会の今年は、姉妹校であります平成国際大学から学長中村先生、学生部長高乗先生をはじめとして教職員学生14名が参加され、盛大に開催されました。山口県のかかに歴史的意義深く、かつ体力増進という目的を達成できる場所はないだろうかと考え、見つけ出したのがこの萩往還道でした。山口から、萩までの約35km

江戸時代参勤交代のため整備された道を遺跡を傍らにしながら、山道を越えて行くという歴史ロマンにあふれるこの徳大伝統行事に平成国際大側から、それは是非参加してみたいとの声が上がリ、今回の実現に至りました。春の本学学生平成国際大訪問に続き、秋はこの行事に平成国際大から参加し学生交流を行うということで、これからの姉妹校学生交流の活動の基本となっていくことでしょう。

ひたすら、ゴールを目指して道を行くという一見シンプルに見える行程の中に、自然の景観や、友

との語らい、励まし合い、そして歴史を体感するというメニューが何気なく組みこまれています。忘れてならないのが、旧宿場町跡佐々並での昼食、名物豆腐を冷奴で舌鼓、女子学生の手作り豚汁でしばしの休憩は、心から疲れを癒します。感動のゴールは通称「涙松」と呼ばれる場所から約3km、終点金谷天神まで疾走あり、歩くものあり、手をつないで行くものありで、夕間に包まれゴール。平成国際の参加者も全員テープを切りました。

この徳大名物行事となった萩往還道強歩大会。今秋開催時は地域やOBの一般の参加も検討中ということで、ますます盛り上がりそうです。



大学祭開催 (江頭上陸!!)

今年も盛大にポプラ祭が開催されました。2日目ファイヤーストーム点火後、江頭2:50(男同志)登場!!大学グラウンドを埋め尽くした観客は騒然、筆舌に尽くすことのできないほどの芸で、ステージの上と下で食うか食われるかという異様な盛り上がりを見せました。



日台関係 研究会開催

平成11年2月1日姉妹校である台湾の中国文化大学より教授2名を招き、日本と台湾の関係をテーマにした研究会が教職員、一般市民50名が参加し開催、最近の台湾からの留學生の動向と課題、戦前の台湾統治、今後の展望などについて研究発表、討議が行なわれました。

原小夜子さん (4年・女子バスケットボール部) 日本リーグへ

女子バスケットボール部主将を務め、本年全国大会では悲願の1回戦突破の原動力となった原さんが東京三菱銀行へ内定しました。彼女のポジションはセンター、183cmの長身を生かして今後ますます活躍されることでしょう。

南先生論文受賞

本学で、マクロ経済や国際経済論を担当されている南雅一郎講師が、東洋経済新報社の高橋亀吉記念賞を「グローバルスタンダードの誤謬」という論文で受賞されました。詳しくお知りになりたい方は徳山大学総合経済研究所までお問い合わせ下さい。

沼野治郎先生叢書出版

このたび沼野治郎先生が徳山大学研究叢書17号として「私が接した言葉とその文脈」と題する本を出版されました。こちらも詳しくお知りになりたい方は徳山大学総合経済研究所までお問い合わせ下さい。

沼野先生は平成11年3月31日をもって本学を依願退職されました。

ベンチャー ビジネス論講座

新事業の創出や技術革新にチャレンジする人材育成を目的とした「ベンチャービジネス論講座」が開講されました。同講座は、ベンチャービジネスを育成するための各種施策を総合的に体系化した県の「Vプロジェクト98」の一環として実施され、本学では大西先生をはじめ県内外の経済人や大学教授などを講師に招き今年1月まで合計10回に渡り行われました。

評議員候補者募集について

この6月に現評議員は任期満了となります。これに伴い、改選を行うため評議員候補者の募集を行います。

一、評議員とは

徳山大学校友会の会員数(卒業生数)は現在一万人を超えています。会員全員召集しての総会は物理的に不可能です。そこで、平成3年度より各職域、各地区並びにクラブ、学生団体等OBより代表を出してもらい、総会に代わる評議員会を開催し、会の活動を進めていくこととなりました。この代表者が評議員です。

二、評議員の任務

毎年6月開催の評議員会に出席。その中で活動方針、規約改正、予算決算、事業計画の審議を行っていただきます。この中から幹事も選出されます。

三、評議員の任期

委嘱された年の評議員の日より二年経過後の評議員会の日までです。

四、評議員の選出方法について

本年1月に評議員選出委員会が発足(委員長・藤岡正史氏)後述基準に該当するOB団体より評議員候補者推薦状と母体名簿を提出してまいります。(これまで評議員を務められた団体および4号議員について事務局より連絡通知します。)この提出された推薦状に基づき候補者名簿を作成、選出委員会、幹事会の審議を経て、選出となります。

評議員候補者推薦状提出のための基準

(1) 1号議員(職域)
5人以上の同一職場の同窓生であること。

(2) 2号議員(支部および地域)
支部に所属するOBの代表並びに支部のない地域においては10人以上の同窓生より推薦のあった者。

(3) 3号議員(クラブ及び学生団体OB)
同一クラブ及び学生団体で構成する会員数10名以上のOB会であること。

以上、評議員について大まかな流れを紹介しました。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

評議員候補者受付中

<受付期間> 平成11年4月末日まで

<お問合せ> 徳山大学校友会事務局内
評議員選出委員会

<TEL> 0834-28-7454



とある3号議員



とある1号議員



とある4号議員



とある2号議員

お便りご紹介

今回も沢山のお便りをいただきました。のていご紹介いたします。

●夫が徳山大学のとき知り合っ
て、今年結婚しました。一緒に
ポプラ祭にも行ったり、徳大の
ご飯も食べたし、とても懐かし
いです。今は福山ですが、山口
には帰れなくて残念ですが、山
口かまたポプラ祭に行きたいで
す。

福山市在住 藤井知子 22歳

●徳大第21号読みました。やっ
ぱり徳山大学食といえ、ト
リライス懐かしい。僕もこのト
リライスには本当にお世話にな
った1人なのですが、今はもう
ないのかと思うとなんだかせ
つない。いつの日か徳山大学に
行ったときに食べようと思っ
ていたのに残念。あとは大学祭の
時に、1度徳山に行きトリライ
スを。待ちどろしい。

高知県在住 近藤義浩 26歳

●学園祭(ポプラ祭)は最高の
盛り上がりでした。今回はぜひ
バイレイズを呼んでください。
徳山市在住 中野義輝 23歳

●トリライスの内容がなつかし
く思わずペンをとってしまっ
ました。あきず毎日食べていた
頃、そしてなんと口の中に
ジュワーと旨みが出てきたかん
じを思い出しました。
今は年に一度しか味わえないお
いしです。でも今の学食の方がお
いしかったです。
高松市在住 濱田和幸 35歳

●3月に卒業し、毎日仕事に追
われている時、この「とくだい」
が届きました。なつかしかった
大学時代を思い出しています。
赤穂市在住 池田順一 23歳

●孫をお願いします。
豊田市在住 天野千代 70歳

●今回「ライフスタイル」クロ
ーズアップで、「讃岐屋井兵衛」経営
されている瀬脇さんを見つけて
主人はなつかしそうです。大
学時代野球部で、とてもお世話
になりました。このように、このよ
うに身近な方のご活躍を見る
おかげだと思っております。卒業
してから近況がわかるの、つて

いいですね。今度は「活躍する
徳大OBたち」に日々消防レス
キュー隊として、がんばってい
る主人を紹介してもいいかな。
広島市在住 岡本美佐代 27歳

●前回のプレゼントコーナーで
山口グルメガイド98の本をプ
ゼントしてもらって、呑み屋さ
ん御食事コーナーを楽しく使っ
ています。これからもプレゼント
お待ちしております。
熊毛町在住 熊谷宏 39歳

●いつも楽しく拝見しております。
学生生活が懐かしいですね。
ぜひ、また徳山へ行ってみたい
です。
広島市在住 上奥正則 33歳

●国府中学、多々良高校、徳山
大学と2つ上の瀬脇先輩の記事
を見てビックリしました。
防府市在住 梅田佳孝 30歳

●今回の第21号は今までのもの
よりも更にパワーアップした内
容だったと感じました。学内情
報やお店の紹介が活躍するOB
たち全体を通じて内容が濃かつ
たです。今つくづく徳山大学で
本当に良かった。
玖珂郡在住 米元常智 33歳

●主人が徳山大学出身です。校
友会誌が届くとうれしそうに
から隅まで読んでいます。もっ
と発行回数を増やして下さい。
岡山市在住 延原誠 28歳

●校友会誌を毎回楽しみにして
おります。今回の徳大ミニアッ
クエッセイのトリライズには忘
れかけていた時代を思い出し懐
かしくなりました。これからも
徳山の情報をお聞かせ下さい。
住所の変更をよろしく願いま
す。
徳島県在住 郡和良 30歳

●もつと色々な情報を願ひ。
大分市在住 小野文裕 38歳

●いつも楽しみに読んでいます。
これからも面白い情報をたくさ
ん載せて下さい。
熊毛町在住 北角綾子 23歳

●山口銀行周南団地支店に転勤
しました。皆さんご来店が過ぎま
した。皆さんの来店の折は、気
軽に声をかけて下さい。
徳山市在住 江川敬一 30歳

福島教授定年退職、同窓生により「福島先生に感謝する会」



本学で国際関係論等担当された福島康人教授が、本年をもちまして、定年退職をされることになり



《福島ゼミOB会お問い合わせ》
幹事：白石清史さん(21期生)
0834-31-9740(留守電有)

思い出いっぱい・徳大の10年
(元徳山大学教授 福島康人)



いきました。新入生の中には3日間の拘束を嫌がる者もいるようだが、上級生からは「先生や友人と出会い、徳大を知る機会になつたし、懐かし」という声をよく聞いたものです。校友会の皆さんにも同感の人が多いのでは？

学生に自信をつけたポプラ祭での発表

次に関わるようになった大学の行事は、秋のポプラ祭でした。平成5年秋の学期始めに、学生部主事室からこう言われたのです。「ポプラ祭に知的活動が足りないけれど、国際問題はアビュルし易いので、ゼミの展示発表をお願ひできないか」と。学生の中には「一見に

新横浜から徳山まで新幹線で約5時間半。自宅を出て大学までざつと7時間。最初は乗るたびに「遠いなあ」と思ったものです。だが次第に馴れ、いつの間にか10年が経ってしまいました。徳大への再就職が決まった時は、二・三の先輩、友人から「あんないい所へ毎週通勤するなど無謀だ」、「年齢を考へろ」、「体こわすぞ」と反対され、従って「きつくなつたら、いつでも辞めればいい」ぐらいの気持ちでした。それがあつたと言つたので

同時に、時事問題の世論調査、来観者へのアンケート調査を実施したばかりか、執行部委員だった白石清史くんが全員の研究成果を『国際問題あれこれ』と銘打つ冊子にしてくれました。この展示発表と冊子の制作は、その後も続けましたが、ポプラ祭自体が学生会執行部や主事室のたゆまぬ努力で、年を違つて賑やかなるものとなり、学生達も来観者の激励で大いに自信をつけたように思います。

改善いちじるしいオリゼミ
短いようでも、やはり長かった10年。思い出はいっぱいあります。最初に参加した大学の行事は平成3年春、秋吉台でのオリゼミ。自衛隊の新隊員教育を思わせる挨拶や掛け声には、少々驚きました。クライマックスはスタンプとフアィア。そして教員の楽しみはその後のコンパ。これは新参者の私には先生たちと親しくなるいいチャンスでした。

萩往還で再認識した吉田松陰の人徳
「維新の道」踏破も思い出多い行事でした。瑠璃光寺から萩まで40キロ足らずと聞き、それならと歩くことにしたのです。数十人の参加学生には稽古着、トレーナー着

用の運動クラブ員が多く、下駄ばき姿もいました。行程の半分を占める山道は、昔のままに保存してあるため、決して歩く易くありません。私たちは息をはずませ、ここを往來した維新の志士たちに想いを馳せました。それにしても、捕らわれの身の吉田松陰を運んだカゴかきは、この山道に難渋し、カゴを放り出したくなつたのではないかと想像したので、史実に精しい中村道陽氏から「カゴかきはカゴが揺れないように細心の注意を払いながら運んだ」と聞き、松陰先生の人徳に改めて感じ入つた次第です。もう一つ、下駄ばきの足には途中から血がにじみ出したけど、彼らは意気軒昂しかも、なんと最後の3キロ地点から大多数が萩城下に向かって走りだしたので。勿論、走るところが青息吐息で辿り着いた者もいました。が、ともあれ私は、教室では分からない運動部員のタフな一面を見て内心感動したのです。それに女子学生が昼食作つてくれる豚汁は美味満点でした。

楽しかった学生との交流
この他にも、総合グラウンドが完成して平成8年から行われるようになった6月の体育祭、また同8・9年と2回同行した日華関係研究会の台湾研修も思い出です。同時に、10年を通して楽しかったのは、やはりゼミ生との交流でした。毎週の授業のほか、先に述べたポプラ祭時の展示発表、大津島での合宿、岩国基地での体験搭乗、そして横須賀、阿蘇、湯田などへの卒業旅行と、どれも忘れ難いところから誘われて飲みに行き、夜の徳山も多少は分かるようになってきました。

最後に、私のゼミの卒業生たちが、校友会の一支部を結成し、加入を申請いたします。皆さん、宜しくお祈りいたします。そして、徳山大学校友会誌「とくだい」のご発展を祈ります。

STAFF
広報部部長 事務局
瀨川 昌文(1期) 中村 道陽(11期)
守田満里子(23期)
協力 学校法人徳山教育財団徳山大学
今元 英之(20期) 藤井写真館
松村 彰臣(4回生)

●お便り随時募集！
あなたの身近な出来事、在学時代の思い出、同窓会の話など、なんでも結構です。
FAX 0834(28)7454
●プレゼント大募集！
なんでも構いません。貴殿のPRも添えてどうぞ！
●協賛広告募集中！
校友会誌をより充実させるためにご協力の程宜しくお願ひいたします。
※詳しくは校友会事務局まで

プレゼントコーナー!!
●山口グルメガイド'99
●プライダルガイド'99 VOL.2
●岡茂プロ直筆サインボール
●金子みずすハガキセット
応募方法
徳山大学校友会事務局まで